

第二十二回帝國議會 衆議院 軍人恩給法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年三月九日午後一時三十六分開議

出席委員左ノ如シ

木暮 武太夫君

安島 重三郎君

西村 專太郎君

關口 安太郎君

三輪 傳七君

江藤 哲藏君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍次官 石本 新八君

海軍次官 加藤友三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

軍人恩給法中改正法律案(政府提出)

○委員長木暮武太夫君 是ヨリ開會致シマス、種々質疑モゴザイマセウガ、大體ニ於テ提出ノ理由ヲ詳細ニ御述ベ下サタ方ガ便宜デアラウト思ヒマス

○政府委員石本新六君 私カラ御話ヲ申上ゲマス、此度提出シマシタ恩給法改正ノ重立タ事項ヲ述ベマス、其重立チマシタ事項ト云ヒマスモノハ、第六條デ是マデノ恩給法ノ規定ハ、四十箇年以上ノモノニハ給額ノ規定ガ無い、四十箇年ガ一番上デゴザイマス、所ガ今度五十箇年ニ延スト云フコトニ致シマシタ、其五十箇年ニ延ス即チ十箇年ノ期限ヲ延スト云フコトハ、陸軍ニモゴザイマスガ、是ハ海軍委員カラ詳シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、海軍ニ主トシテ多イ、是ハ年限加算ト云フコトハ、船ニデモ乗ッテ居ルモノハ隨分澤山アリマス、從テ四十箇年以上ニ達シテ、恩給ノ上ニ於テ増額ヲ得ナイト云フ下士ガ大分アルサウデス、陸軍ノ方デハ下士ト云フ部分ニハ餘リアリマセウガ、將校ニハ大分サウ云フノガゴザイマス、是トデモマテ僅カデゴザイマスガ、追々斯ウ云フモノモ出來マセウト思ヒマス、四十箇年テ切留ト云フノハ、後トガタ々奉公ト云フコトニナリマスノデ、氣ノ毒ニモ感ジマスルシ、續々サウ云フモノガ出來レバ、相當ノ處置ヲ執ッテ置ク必要ガアルト考ヘマシタカラシテ、第六條ヲ改正シテ、四十ヲ五十二致シマシタ、ソレカラ第九條ノ改正、此改正ハ主トシテ今度ノ改正ノ一番大事ノ事項ト思ヒマス、是ハ是マデノ恩給法ノ規定ニ依リマス、育目ニナル或ハ兩手兩足ヲ失ヒマシテ、其上ニ尙一眼ヲ失ッテモツレハ同ジコトデアリマスカラ、此上ニハ出ラレナイ、今度ハ追々ソノナモノガゴザイマシタ、是マデハナカッタノデアリマスケレドモ、或ハ兩手ガナクナッデシマッテ、其上ニ盲ニナッテ云フ者ガアリマス、或ハ獨眼ニナッテモノガアル、或ハ兩足取ラレタ上ニ、片手ガ利カナイ、是マデハ二ツ以上ノ者ハ上ヘハヤラナカッタ、實際ニサウ云フ者デアリマス、サウ云フ者デゴザイマス、大變ニ氣ノ毒ナモゴザイマスシ、又殊ニ他人ノ看護ヲ受ケテケレバ、自分一人デカラニ微陋ナ話デアリマスケレドモ、大小便モ出來ナイト云フ極ク憐ムベキ境遇ニ立ッテ居ル者ガゴザイマス、是等ノ者ハ唯兩眼ヲ失ッテ手足ガ満足デ居ル者ヨリモ、幾分カノ増額ヲ與ヘテ、サウシテ盲ニシテ手が無い足が無いト云フ者ニハ、特典ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ考カラ此所ヲ改正致シマシタ、即チソレハ第九條ト又十條ニ伴ッテ、ソレガ出テ居リマス、即チ金額ノ最上金額ノ上ニ、尙十分ノ六ヲ加ヘル、斯ウ云フコト

デゴザイマス、ソレカラ尙此條ニ於キマシテ申述ベテ置キタイガ、前申述ベマシタヤウナ憐ムベキ境遇ニ居ル者ノ外ハ、矢張唯一指ヲ失ヒマシタ者デモ、モウ少シ好ク待遇シテヤリタイ、物價騰貴其他ノ關係ガアルカラ、金ヲ増シテヤリタイト云フノデ、是ニ伴ヒマシタ附屬表ヲ改正ヲ致シマシタ、ソレカラ第十四條ニ改正ヲ致シマシタ、此第十四條ハ賑恤金ト申シマシテ、一時金デゴザイマス、是ハ下士卒ニヤリマス、是マデハ免除恩給ヲ受クベキ者ニハ賑恤金ヲヤラナイ、輕傷ニシテ免除ヲ受ケザル者ニ給スト云フノデアツタガ、受ケル者デモヤル方ガ正當デアラウト云フノデ、免除恩給ヲ受クベキ資格ノアル者デモ、斯ウ云フ不幸ノ境遇ニ出會タ者ニハ、矢張賑恤金ヲヤル、斯ウシタ方ガ適當アル、其當人ノ身分々々ニ立入ッテ見マス、恩給ハ恩給デ貰フガ、一時困ルト云フ境遇ガゴザイマセウカラ、是等ノ者ヲ幾分カ慰安シテヤリタイト云フ考デ、第十四條ニ改正ヲ致シマシタ、ソレカラ第十五條ニ於キマシテ、現行ノハ十三箇年ト云フコトニナッテ居リマシタ、此十三箇年ト云フノハ、今度額ヲ上ゲマシタカラ、十三箇年ハ少シ多過ルデアラウト云フノデ、是ヲ十箇年ト改メマシタ、是ハ他ノモノニ比シテ權衡ヲ得サセルガタメニ、是ノ如ク修正ヲ致シマシタ、ソレカラ飛ビマシテ今度ハ附則デゴザイマス、此附則ノ一番初メニハ「本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但明治三十七年二月六日以降現役ヲ離レ云々」トシテゴザイマス、三十七年二月六日ハ宣戰公布ノ日デゴザイマス、此日マデ遡ッテ此度ノ改正ハ實行シテヤラウ、即チ其當時カラ傷痍シタ者、寡婦孤兒トナシタカラニ、扶助料等ヲ受ケル者ニ此恩給ヲ加ヘテヤル、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ此但書デテカラニ、恩給ヲ受ケントスル者ハ、本法施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ請求ヲ爲スト云フコトハ、幾分カノ猶豫ヲ與ヘテヤラヌト、施行ノ日ヨリ直チニト云フコトデアリマス、手續其他ニ於テ餘程手が掛リマス、是等ノコトヲ考慮シテ、三箇年間ニ請求スレバ宜イト云フノデ、三箇年ト定メマシタ、是等ハ恩給法ノ規定ニ於キマシテモ、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレデ三箇年ト致シマシタ、其次ノハ賑恤金ヲ受ケ、又ハ是ヲ受クベキ權利ヲ有シテ、現役ヲ免除セラレタル後重症ニ趨イタ場合デアリマス、御承知ノ通り賑恤金ヲ受ケル者ハ、片手ヲ失ッタトカ、片足ヲ失ッタトカ云フ者デ、増加恩給ヲ受ケル者デナイ、例ヘバ指一ツ落サレタトカ、或ハ足ノ機關ヲ損ジテ跛ニナッテト云フ部類ノモノデ、ヒドクナイノデス、所ガ此賑恤金ヲ受ケマシタ後デ、段々々重クナッテ來ル者ガアル、是ハ今度多數ノ負傷者ガ出來マシタメニ、一々先ノ先マデ見デカラニ、オ前ハ第何項ニ當ル、オ前ハ第何項ニ相當スルト云フコトガ、確實ニナッテ居ラヌコトガ間々アリマス、或時期マデサウ云フ者ガアッテ顯出レバ、詮議ヲシテ増加シテヤル、斯ウ云フ規定デアリマス、ソレカラ此改正ガアルト、ズツト遡ッテ總テノ者ガ矢張是ニ浴スルノカト云フ疑ガアルトイケナイト云フノデ「本法施行前恩給ヲ受クベキ權利發生シタル者ニ付テハ第一項但書ノ場合ヲ除クノ外總テ從前ノ規定ニ依ル」斯ウ云フコトヲ此處ニ定メマシタ、元來此恩給法ト云フモノニ付キマシテハ、高ガ穩カデナイ、或ハ是ト是トガ鈎合ヲ得ヌト云フ議論ガ往々アリマシタ、ソレデ一遍ハ大ニ是ヲ修正シテ、根本的ニ直スト云フ考ヲ以テ、修正ヲ試ミタコトモ

ゴザイマス、併ナガラ餘程サウナリマスルト、大袈裟ナ改正ニモアリマスシ、又此急ヲ要スルト云フ場合ニ於テ、ソレ程マデノ必要ハナイ、差向キ前申述べタヤウナ必要ナ事項ニ付イテ改正ヲシテ置イタナラバ、差向キノ所ハソレサウ不公平ガナシ、サウ不都合ガナクテ往ケヤウ、斯ウ云フ考デ今差向キノ必要ニ應ズルダケノ改正ヲ致シマシタ、ソレカラ別表ノ表面ハ前申上ゲマシタ四十年マデノヤツヲ、五十年マデニ延スタメニ、今ノ率ニ依ッテ金額ヲ割附ケマシタ、ソレカラ、第三號表ノ増加恩給、前申述べマシタ不具廢人ニナリマシタ者ニ金額ヲ増シタル、此改正ゴザイマス、是ダケノ改正ヲ此度ハ提出ニナリマシタノデゴザイマス、其他ハ又質問ニ應ジマシタカラニ、御答辯ヲ申上ゲマス

○江藤哲藏君 此第六條但書ノ中、四十年ヲ五十年ニ改メル結果、此附則ノ適用ニ依ッテ、三十七年二月六日以後今日マデニ至ル間ニ、退職恩給若クハ免除恩給ヲ受ケル事由ガ發生シタ者ノ人員ガ、陸海軍分テ居リナラバ御知セテ願ヒタイ

○政府委員加藤友三郎君 四十年ヲ五十年ニシマシタコトハ、私が説明ヲ兼テ申上ゲマスガ、海軍ノ方デハ御承知ノ通、兵曹長ト云フ高等官ガアリマス、是ハ新兵カラ順ニ進級シテ往キマシテ、最後ニ兵曹長ト云フモノニナルノデス、ソレデハ是非常ニ古イ人ニナルノデス、是ガ主トシテ四十年以上ニ當ルモノアリマス、ソレデハ先刻石本委員ヨリモ述べラレマシタ如ク、卒ニハアリマセヌ、下士ニモ若干アリマスケレドモ、是ハ少數デアリマス、茲ニ昨年ノ十二月現在員ヲ調ベタモノガゴザイマスカラ、御參考マデニ申上ゲテ置キマス、四十一年ニ該當スル者ガ大佐デ一名、ソレカラ兵曹長デ十二人、准士官ニ四名、ソレカラ少シ飛シテ五十年ニ該當スル者ガ兵曹長ニ一人デス、又飛シテ五十六年ニ該當スル者ガ一人アリマス、其間ノ各年度ニモアリマスケレドモ、是ハ略シテ申シマセヌガ、要スルニ此四十一年以上ニ當ル者ガ合計七十名居リマス、其後詰リ一月カラ今日マデニ、四十一年以上ニ該當スル者ガモウ十名バカリ出來テ居リマス、斯ウ云フ有様デアリマシテ、此原因ト云フモノハ、主トシテ海軍ノ方デハ唯今申シマシタヤウニ、新兵カラ入營シテ以來、ズット下士トナリ、准士官トナリ兵曹長マデ進級サセルノデ、斯ウ云フ長イ年數ヲ有スル者ガ出來マスノト、ソレカラ戰時ノタメニ年限ヲ増サレマシタリ、ソレカラ外國航路ヲスルト、海軍デハ半箇年ヅ、増スコトニナッテ居リマス、ソレカラ支那朝鮮アタリヘ警備ニ往キマス、一箇年増ス、斯ウ云フコトガアリマスタメニ、比較的多クノ年數ヲ有スル者ガ出來ルノデス、此等ハ今日マデト云フモノハ、四十年ガ最上限ニナッテ居リマスカラ、ソレ以上ハ幾ラ長ク勤メテモ、貰フベキ恩給ハ四十年以上ハ貰フコトガ出來ナイ、サウ云フ實際ノ結果デアリマスカラ、此場合ニモウ少シ先キマデ年限ヲ増シテ、恩典ヲ與ヘテ遣ル方ガ宜カラウ、斯ウ云フ希望カラ五十年ト云フコトニシタノデアリマス

○江藤哲藏君 是ハ陸軍ノ方ニハゴザイマセヌカ

○政府委員石本新六君 アリマス、アリマスガ陸軍ニハ極ク僅カデゴザイマス、先ヅ見込デスカラ確カリシタコトハ分リマセヌガ、四十一年ニ達シテ居リマス者ガ、中將デ一人、少將デ一人、大佐デ四人、中佐デ二人、少佐デ七人、大尉デ十人、合計二十五人、ソレカラ四十二年ニ達シテ居ル者ハ、大佐ガ三名、中佐ガ一名、少佐ガ七名、大尉ガ二名、合計十三名、ソレカラ四十二年ニ達シテ居リマス者ハ、少將デ一名、中佐デ二

名、少佐デ五名、大尉デ四名、合計十二名、ソレカラ四十四年ニ達シテ居リマス者ハ、少將デ一名、少佐デ一名、大尉デ一名、合計三名、ソレカラ四十五年ニ達シテ居リマス者ハ、大佐ガ一名、少佐ガ一名、合計二名、此金額ヲ合セマシテカラニ、是マデ皆貰ッテ居ルノデスカラ、ソレヲ差引勘定シテ九百五十九圓ダケ増ス豫算デゴザイマス、此多ク達シマシタ理由ハ、是マデ既ニ豫後備ニ這入ッテ居リマス者ガ、此度ノ役召集サレテ戰地ニ往キマシタガ、御承知ノ通り此度ノ戰地ニ往キマシタメニ、一年出テ居レバ二年ノ加算ガ付クカラ、二年ト云フモノガ殖エルシ、二年往ッテ居リマシタ者ハ、更ニ同様ノ加算法デ又三年ト云フノデアリマスカラ、該地ヘ二年往ッテ戰闘ノ職務ニ從事シテ居ル者ハ、丁度六年ガ増シマスカラ、隨分是デ加算ノ殖エマス理由デゴザイマス

○江藤哲藏君 海軍ノ方ノ額ハ分ッテ居リマスカ

○政府委員加藤友三郎君 先刻申シマシタ通、昨年十二月ノ調ベ計算シテ居リマスガ、ソレデハ増額シマスノガ唯今申シマシタル、七十名ニ對シテ六百七十八圓ト云フコトニナッテ居リマス

○安島重三郎君 私モ質問致シマスガ、豫備兵ニシテ二十七八年ノ日清戰爭ニ參加フシ、又後備兵トシテ二十七八年ノ日露戰役ニ參加シタ、而シテ十年以上ニハナッテ居ルガ、十一年ニ達シナイガタメニ、其恩給ニ浴スルコトガ出來ヌト云フ者ガ澤山アルト云フコトヲ聞イテ居リマス、而シテ其甚キハ、僅カニ三箇月ノ差ノタメニ、此恩給ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトヲ聞イテ居リマシテ、實ニ私共ハ此等ノ者ニ對シテ氣ノ毒ノ感ニ堪ヘマセヌガ、當局者ハ是等ノ者ニ對シテ如何ナル考フ有シテ居ラレマセウカ、又豫後備ノ者デ十年以上現役ニ服シテ居ッテ、十一年ニ滿タナイト云フ者ノ數ガ、御分リニナッテ居リマスナラバ、併セテ御示シテ願ヒタイ

○政府委員石本新六君 是ハ恩給法ノ定メガ十一年トナッテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ一箇月足りナイデモ、或ハ一日足りナクナッデモ、ドウモ致方ガナイノデス、是ヲ假ニ十年ト定メ、若クハ九年トシテ減ラシタトコロデ、矢張ソナ者ガ出來ル、私ハ八年ト何箇月ニナッテ居ルノニ、ソレニ這入レナイト云フノハ誠ニ困ル、誠ニ少シノコトデト云フコトハ、何處マデ往ッテモ實際限ノナイ話デアラウト思ヒマス、故ニ或極度マデ往ッテ居ッテ、僅ノコトデ恩給ノ恩典ニ浴サレナイ人ハ、誠ニ氣ノ毒デハゴザイマスケレドモ、是ハドウモ致方ガナイノデス、今日ノ有様デ如何トモスルコトハ出來ナイト考ヘマス、又此日本ノ制度ト云フモノガ、十一年ト云フコトハ餘程ノ恩典デゴザイマス、他ノ國デハナカク、十一年デ恩給ニ浴スルト云フコトハゴザイマセヌカラ、是ヲ今減シテ十年トカ九年トカ、若クハ八年ナリニシヤウト云フコトハ、餘程國庫ノ負擔ヲ増シマスシ、ソレ程マデニ恩給法ニ金ヲ入レルト云フ、今日ノ國家ノ餘力ガナイ時期デアリマスカラ、先ヅ氣ノ毒デハゴザイマスガ、忍シテ今日ノ儘デヤルヨリ外ニ致方ガナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ恩給ヲ受ケナイ者ガドレ程アルカト云フコトハ、是ハチヨット調べハ着キマセヌガ、隨分澤山アルダラウト思ヒマス、將校ニシテモ下士卒ニシテモ、是ハ無論多イニ違ヒナイ、殊ニ下士卒ニ多イト思ヒマス、今調べハゴザイマセヌ

○江藤哲藏君 此第九條第一號中二股以上ヲ二股ニ改ムト云フコトハ御説明ガアリマシタケレドモ、少シ了解シ兼マスカラ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員石本新六君 是ハ第九條第十條ト關聯シテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス  
ガ、是マデノ九條ニ第一號ト云フモノニ「兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ」ト  
規定ニナッテ居リマシテ、増加ノ恩給表ニゴザイマスル第一號ハ、二肢以上ヲ亡シタル者デ  
モ、二肢ヲ亡シタル者モ同ジコトニナッテ居ル、盲目ニナッテ兩手ノナイ者モ、唯兩手ヲ失  
イモノモ、同ジ恩給シカ貰ヘナイ、是マデハサウナッテ居ル、或ハ四肢トモナクナッテシマ  
ウ者ガアルカモ知レヌ、ツレガ同ジコトデス當ラ得ナイ、盲目ニナッタル者ト盲目ノ上ニ兩手ノ  
亡クナッタル者ト區別ラシヤウ、斯ウ云フコトコロカラ以上ト云フ字ヲナクシテ、二肢ヲ亡シ  
タルトキハ、第一號ニ當テラヤウニシテ、ツレカラ第十條ノ第三ニ於テ、更ニ十分ノ六マデ増  
額シテアルコトガ出來ルヤウニシテアル、例ヲ申セバ第一號表ノ一號傷ヲ兼ルモノ、即チ第  
一號デハ十三圓貫ヘルモノデアルト、尙是ニ十分ノ六ヲ加ヘルト、五十圓ヲ併セテ百二  
十三圓ヲラウ、斯ウ云フデゴザイマス、九號ト十號トハ聯帶シテ居リマス

○江藤哲藏君 第十一條ノ方ニモ、同ジヤウニ二肢以上ト云フコトガアルガ、是  
ハ改正スル必要ヲ御認ニナリマセヌカ、御認ニナラヌトスレバ、其理由ヲ承ハリタイ

○政府委員石本新六君 是ハ前ノトハマルテ事柄ガ違ヒマス、十一條ハ一度極ツタモノ  
デ、例ハ片手ナクテ片手ハクツ着イテ居ルケレドモ、十分働キヲシナカッタ、ツレデ幾分力ニ  
肢ヲ失ツタモノトハ、等差ヲ付ケテ増加恩給ヲ支給シタル後、段々病氣ガ重クナッテ家ヘ  
歸ッテ療治シテ居ル中ニ、全ク二肢失ツタト云フモノガ生ズル、サウ云フモノハ是ヲ間ニ  
願ヒ出レバ、詮議ラシテ初メハ片方ノ積リデアルガ、兩手がナクナッタルハ、額ヲ殖ヤシテ  
ヤラウ、斯ウ云フ規定デス、或ハ指一本ヲ濟タモノガ、病ガ段々進シテ遂ニ腕ヲ切ラナケ  
レバナラヌト云フコトヲ、或時期ニ於テ生ズル、其者ハ初メ指一本ノ積リデアルヤツデ置イタ、  
ツレデハ可哀サウダカラ、腕一本ニ直シテアルト云フ規定デゴザイマス

○江藤哲藏君 是ハ陸海軍ノ政府委員ニ御尋スルハ無理カモ知レマセヌガ、刑法ノ  
毆打傷害罪ニハ、兩肢ト云フ熟字ガ使ッテアル、今日デハ兩肢ト二肢トハ意味ガ違ウコ  
トニナッテ居ル、例ヘバ兩肢ト云ヘバ、相對シテアルカラ兩方ノ手トカ、兩方ノ足トカ云フ  
デ、上肢ノ一即チ手ノ一方下肢ノ一即チ足ノ一方ト云フノガ、二肢ニナルケレドモ、サウ  
云フモノヲ兩肢トハ認メヌ、斯ウ云フヤウニ刑法ノ方デハ解釋ニナッテ居ルガ、此二肢ト云  
フハ恩給法ヲ實地ニ振ウツ、一ニ於テドウ云フ意味ニナリマス

○政府委員石本新六君 二肢トハ必ズ兩手トカ兩足トカ云フノデナク、片手片足デ  
宜シイト云フ意味ニ取ッテ居リマス

○安島重三郎君 本案ニ關聯シテ居ル問題デアリマスカラ、チヨット質問シマスガ、印  
紙類賣下規則ハ、二十三年十一月勅令第二百七十一號ヲ以テ發布ニナッテ、第三  
條ニ於テ陸海軍人其他公務ノタメ受ケタル傷痕、又ハ疾病ヲ以テ法律ニ據リ恩給  
ヲ受ケルモノ、第二ニ法律ニ據リ扶助料ヲ受ケルモノ、第三ニ一般人民、斯ウ云フ順  
序ニ依ッテ賣捌ヲ受負ハセルトアツテ、第一、第二、ノ如キ慈ムベキモノニ職業ヲ與ヘテ  
是ヲ保護スルコト云フ意味ニ外ナラヌコトデアラウト思フ、然ルニ二十二年三月勅令第五  
十號ヲ以テ、收入印紙賣下規則ガ發布ニナッテ、此既得權ヲ侵害サレタカノ如キ有様  
ニナッテ、誠ニ是等ノ人が困難シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、今回ノ日露戰爭ニ  
依リテハ、傷痕或ハ疾病ノタメニ恩給ヲ受ケルモノ、又ハ扶助料ヲ助ケルモノガ澤山アル

カラ、此印紙賣下ノ如キ許可サレルノガ、澤山殖エテ來ルデアラウト思フガ、是等ニ對シ  
テドウ云フ御考ヲ御有チニナッテ居リマス

○政府委員石本新六君 是ハ本問題ト掛ケ離レタ問題デ、研究シテ居リマセヌ又、  
陸軍省ナリ海軍省ナリノ所管デナイ、大藏省ノ人ニデモ來テ貰ヒマセヌト、確タル御答  
ハ出來マセヌガ、陸海軍共ニ無論此恩給ヲ受ケルモノ、又ハ扶助料ヲ受ケルモノニ相  
當ノ便宜ヲ與ヘ、保護ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フコトハ、無論希望デゴザイマス、確タルコ  
トニ付キマシテハ、何分御答致シ兼マスカラ、ドウゾ御入用ナラバ大藏省ノ人ヲ御呼寄  
セテ願ヒマス

○江藤哲藏君 此改正ノ全體ニ依ッテ影響ヲ受ケル豫算高ハ何程デゴザイマスルカ

○政府委員石本新六君 人員ノ數ガマダシカリ分リマセヌシ、又恩給ヲ受クベキ者  
ノ増加恩給ガケテ申上ゲマスガ——ドコノ項ニ適合スルカ、シカリ分リマセヌカラ、多少  
ノ違ヒハアルト云フコトヲ、豫メ御含ミ願ヒタイ、先ヅ唯今ノトコロデ調ベマシタルコロニ  
依リマスルト、一万六千人ダケ今度ノ恩給ヲ受ケルコトニナリマス、ツレハ正シイ數デハア  
リマセヌ、端數ハアリマスガ——ソコデ現行法律ノ規程ニ依リマシテ、此改正ヲシナイデ  
ドレ程掛ルカト云フト、ツレハ三十九萬八千五百六十二圓餘ニナッテ居リマス、ツレデ  
改正ニナリマスルト、ドレダケカト云フト、五十九萬五千二百二十二圓、差引キマシテ  
カラ二十九萬六千六百六十圓ト、是ダケノ金額ガ増シマス、丁度二十萬圓足ラズノ金  
ガ増加スルコトニナリマス

○委員長木暮武太夫君 ソレハ現在調デスカ

○政府委員石本新六君 左様デス、ツレカラ退職恩給ガドレ程増スカト申シマスルト、  
現行法ニ依リマスル、金額ガ四萬四千四百一圓デゴザイマス、改正法ニ依リマスルト云フ  
ト、四萬二千三百六十圓、此差額ガ九百五十九圓、ツレカラ賑恤金ト云フモノガ——  
恩給ヲ受ケルモノニヤラナカッタモノデ、今度ヤルノデスガ、是ハ年々デハナイノデス、現行  
法ニ依リマスルト、四百四十二萬七千六百六十圓、改正法ニ依リマスルト五百一十一萬  
九千八百圓、差引マシテ六十八萬二千六百四十圓、是ダケノモノガ増シマスノデス、  
是ハ過日御協賛ヲ得マシタル豫算ノ中ニ這入ッテ居リマスカラ、之ガタメニ特ニ議會ニ向ッ  
テ更ニ追加トシテ要求スルヤウナコトハシナイ積デゴザイマス、是モ御含置ヲ願ヒマス、此  
外ニ前申シマシタル年限四十年ヲ五十年マデニスルタメニ、九百五十九圓——一千圓  
足ラズノモノガ増シマス、是ダケノモノガ此度ノ改正ニ伴ヒマシテ増スノデゴザイマス、併シ  
是ハ前段ニモ御斷リ申シタヤウニ、マダ調ガ十分デハゴザイマセヌ、又既ニ御質問モゴザ  
イマシテ、第十一條ニ依ッテ是マデ調ベタモノ、外ニ、三箇年以内ニ申出デタモノハ審  
査ラシテアルト云フ規程ニナッテ居リマスカラ、マダ三箇年間ニハ多少増スモノガナイトモ  
限リマセヌカラ、確實ノ算用ハ付キ兼ネマスカラ、御承知置キヲ願ヒマス

○委員長木暮武太夫君 サウスルト是ハ九十九萬圓ハカリニナルノデスカ

○政府委員石本新六君 サウデハゴザイマセヌ

○委員長木暮武太夫君 六十八萬圓ガ……

○政府委員石本新六君 是ハ一時賜金デスカラ……

○委員長木暮武太夫君 一時賜金デモ何デモ増スノデアリマスカラ……

○政府委員石本新六君 外ノ方デ年限ノ進シテ往クカラ、年々是ダケノモノガ増シテ往クト御考ニナルト違ヒマス、六十八万圓ト云フ金ハ、一時デゴザイマス、年ハ増加スル恩給ハ約二十一万圓足ラズノ金ガ増加スルダケデス

○委員長木暮武太夫君 併シ此次ノ年度ニ於テモ、矢張是ダケノモノハ要スルノデゴザイマセウ

○政府委員石本新六君 是ハ此間ノ議會デ、御協賛ヲ得マシタ中ニ這入ッテ居リマス、恩給其他ノモノデ、三千万圓ハ御協賛ニナリマシタ、其中ニ二千万圓要ルノデゴザイマス、年々ノ分ハ二十万圓以下ノ積デゴザイマス、増スモノ、方デ一時賜金賑恤金ト云フモノハ、確カニハ分リマセヌガ、一千万圓バカリデ、ソレハ既ニ豫算ニ這入ッテ居リマス

○三輪傳七君 唯今ノ御答デ陸軍ノ方ハ分リマシタガ、海軍ノ方ハドウデスカ

○政府委員加藤友三郎君 海軍ノ方ハ總計デ前ノモノヲ加ヘマシテ、無論概算デアリマスケレドモ、二万七千三百三圓デゴザイマス、内一時的ノモノガ、ソレハ陸軍ノ政府委員ノ説明シタノト同ジヤウナモノデスカ、一万六千九圓ト云フモノニナリマス、要スル二年年殖エマスモノガ、一万九千九十六圓ト斯ウ云フモノニナリマス

○安島重三郎君 先程御尋ラ致シマシタ、豫後備ノ下士卒デ二十七八年ノ戰役及三十七八年ノ戰役、此二役ニ參加致シマシテ、現役十年以上ニ達シテ居ッテ、十一年未滿デアルト云フヤウナモノ、數ノ御調ハ、ソレハ調ノ出來ナイコトハアリマスマイガ、若シ御調ガ付キマスレバ唯今デナクテモ宜シイガ、後カラデモ御廻シ願ヒタイ

○政府委員石本新六君 調ベラレナイコトハアリマスマイガ、ナカクデス、ナゼカト申シマスレバ、斯ウ云フ理窟デアル、年限加算ト云フモノガ大變這入ッテ居リマスカラ、其年限モ將校ノ如キモノデ、何事ニ出タ人デアルト云フコトガ分ルカラ、直グ調ガ付キマスカ、下士卒デアリマスルト云フト、召集ヲ受ケテ、ソレカラシテカラニ、二年兵役ヲマンマト勤メヌ者モアリマスルシ、或ハ途中デ勤務勉勵等ノタメニ、歸休兵ニナッタ者モゴザイマス、ソレカラ今度召集サレテ、即チ二十七八年ノ役ニ出タ者モアリ出ナイモノモゴザイマス、出タ者デモ續イテマンマト始メカラシマヒマデ職務ヲ奉ジタモノモアル、奉ジナイ者モアル、又戰地ヘ往ッテ職務ヲ奉ジタ者モアリ、内地デ職務ヲ奉ジタモノモアル、ソレ等ヲ一々調ベルコトハ容易デアリマセヌ、ソレデ年限加算ト云フモノハ、一年内地デ服務シタ者ハ、今度ハ一箇年ヲ加算スル、戰地ヘ往ッテ者ハ二箇年ヲ加算スル、又臺灣ヘ衛戍ニ往ッタモノハ幾ラト云フ——今日ハ一年ニ對シテ半箇年ノ加算デスカ、初メハ一年ニ加算シテ居リマシタ、是等ガ複雑シテ居リマスカラ、容易ノコトデアリマセヌ、シテ出來ナイコトハアリマセヌガ、ソレニハ大イナル時日ヲ要シマス、ソレデ此近イ中ニ於テソレダケヲ纏メテ、御目ニ掛ケルト云フコトハムヅカシイと思ヒマス

○安島重三郎君 ソレデハ概算デモ宜シウゴザイマス

○三輪傳七君 今日ハ此位デ御止メヲ願ッテ、尙質問ガアレバ次ノ會ニ御持出シニナッテハ、如何デスカ

○委員長木暮武太夫君 皆サン如何デゴザイマスカ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長木暮武太夫君 ソレデハ是今日ハ散會致シマス  
午後二時二十二分散會